

7. 水源地域動態

7.1. 評価の進め方

7.1.1. 評価方針

水源地域動態の評価は大きく2つの流れにより評価を行う。1つは、地域との関わりという点で、ダム建設から管理以降、現在までのダム事業を整理するとともに、地域情勢の変遷を整理し、地域においてダムがどのような役割を果たしてきたか、今後の位置づけはどのように考えていくべきかなどの評価を行う。

もう1つの流れとして、ダム周辺整備事業とダム及びダム周辺の利用状況から評価を行うものである。ダム周辺に整備された施設などが十分に利用されているものとなっているか、又は逆に利用状況から見た施設は十分なものとなっているかなどの評価を行う。

最後にこれらをまとめ、ダム及びダム周辺の社会的な評価の総括を行い、課題等について検討する。

7.1.2. 評価手順

評価方針のとおり大きく2つの流れにより評価を行いとりまとめることにする。

作業のフローは図 7.1-1 に示すとおりである。

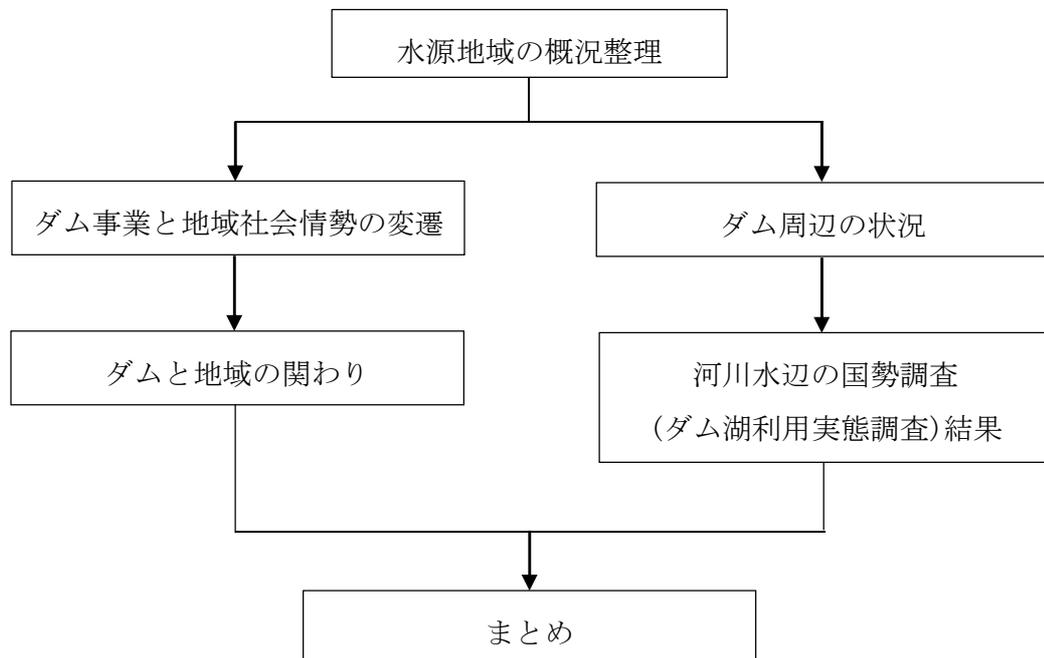


図 7.1-1 評価手順のフロー

(1) 水源地域の概況整理

水源地域の地勢や人口等の概要、交通条件や観光施設等のダムの立地特性等の視点から水源地域の概況を把握する。

(2) ダム事業と地域社会の変遷

周辺地域の社会情勢、地域の交流活動・イベント等についてダム事業の経緯とともに変遷を年表形式で整理し、ダム事業と地域社会の係わりを把握する。周辺地域の社会情勢、地域の交流活動・イベント等は、ダムの影響とまでは言えないまでも関連がありそうな事項を抽出する。これらのまとめにより、ダムを含めた水源地域としての地域特性を把握する。

(3) ダムと地域の関わり

ダムと地域との関わりとして、(2)をもとに、「地域に開かれたダム」や「水源地域ビジョン」等も参考にしながら、地域におけるダムの位置づけについて考察を行う。

さらにダム管理者と地域の関わりとして、至近5ヶ年程度のダム管理者と地域の交流事項等について整理し、ダム管理者の活動等について評価する。

(4) ダム周辺の状況

ダムの周辺環境整備計画を整理するとともに、現況の整備状況について整理を行い、加えて、「地域に開かれたダム」や「水源地域ビジョン」により新たに整備された施設等についても整理する。

なお、原則は「水源地域対策特別措置法」で整備した施設等は評価対象としないが、ダム事業と一体となって整備した施設等は含めることとする。

また、施設入り込み数、イベント開催状況等から周辺の利用状況を整理し、利用に関する評価を行う。

(5) 河川水辺の国勢調査(ダム湖利用実態調査)結果

河川水辺の国勢調査(ダム湖利用実態調査)結果より、ダム周辺施設の年間利用者数、利用形態等についても整理する。

また、アンケート調査結果から、利用者がどのような感想をもっているかについても整理し、利用者の視点からのダム周辺施設(環境整備)の評価を行う。

(6) その他関連事項の整理

水源地域の社会動態に関わる既往検討資料、または景観検討資料、施設の維持管理に関する検討資料等、関連する資料があれば整理する。

(7) まとめ

以上より、地域とダムの関わり、ダムの利用状況に関する評価結果をまとめ、ダムの特徴、課題等について整理する。また、負の評価結果となった事項があれば、これらについて要因を整理し、極力改善策等の提案についてとりまとめるものとする。

7.2. 水源地域の概況

7.2.1. 水源地域の概要

猪名川は、淀川の派川である神崎川の右支川で、淀川水系に属している。一庫ダムは猪名川の支川である一庫大路次川に位置している。

猪名川の下流域には、兵庫県尼崎市・伊丹市、大阪府豊中市、中流域には兵庫県川西市、大阪府池田市、上流域には兵庫県猪名川町などがある。

一庫ダムの水源地域(115.1km²)は、3府県5市町にまたがっている。(図7.2-1 参照)

ダム堤体は兵庫県川西市、ダム湖(知明湖)は兵庫県川西市・猪名川町、大阪府豊能町、上流部のほとんどは大阪市能勢町に含まれるが、一庫大路次川の最上流部は、京都府の亀岡市となっている。

また、ダム湖名「知明湖(ちみょうこ)」は昭和58年に川西市長が命名したもので、ダム湖に突き出した半島にある知明山(ちみょうやま:標高349.2m)から取っている。知明山はかつて銀、銅を産出し、古くから奇妙な山ということで、奇妙山と呼ばれたが、それがなまって知明山となったといわれる。

(参考「ダム便覧」WEBサイトhttp://wwwsoc.nii.ac.jp/jdf/Dambinran/binran/All/All_1511.html)

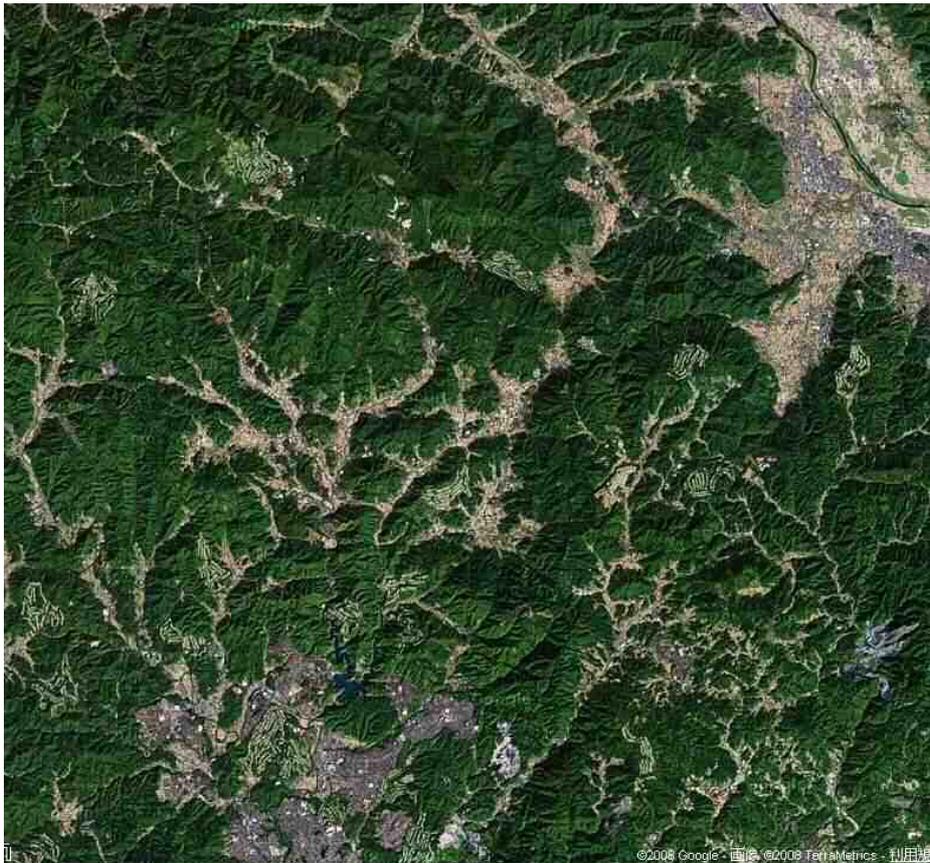


図7.2-1 一庫ダム水源地域

(1) 流域の状況

一庫ダムの流域は大阪府、京都府、兵庫県の2府1県にまたがって位置する。ダム堤体付近及び貯水池の多くは川西市(兵庫県)である。また、流域には、川西市(兵庫県)、猪名川町(兵庫県)、亀岡市(京都府)、豊能町(大阪府)、能勢町(大阪府)、の一部を含んでいる。

流域市町村の面積及び流域面積を表 7. 2. 1-1 に示す。

表 7. 2. 1-1 一庫ダム流域市町村の面積及び流域面積

	市町村 面積 (km ²)	一庫ダム 流域面積 (km ²)	割合 (%)
川西市(兵庫県)	53.44	3.81	7.13
猪名川町(兵庫県)	90.41	10.44	11.55
亀岡市(京都府)	224.90	15.33	6.82
豊能町(大阪府)	34.37	1.62	4.71
能勢町(大阪府)	98.68	83.90	85.02
合計	501.80	115.10	—

資料:国土交通省国土地理院「平成19年全国都道府県市区町村別面積調」

※ 一庫ダム流域面積はプランメータによる測定。

(2)人口・世帯数の推移

一庫ダム流域内の自治体のうち、ダム及びダム湖の大部分を占める兵庫県川西市の状況について整理した。

人口及び世帯数の推移は、図 7.2-2 に示すとおりである。

平成 22 年時点で、流域内人口は約 18,000 人で、大阪府能勢町の人口（11,409 人）が約 65% を占める。流域内の人口は、平成 12 年以降、減少傾向にある。

流域の世帯数も、平成 12 年まで増加傾向にあったが、その後は減少傾向に転じ、平成 22 年時点で、約 5,900 世帯となっている。

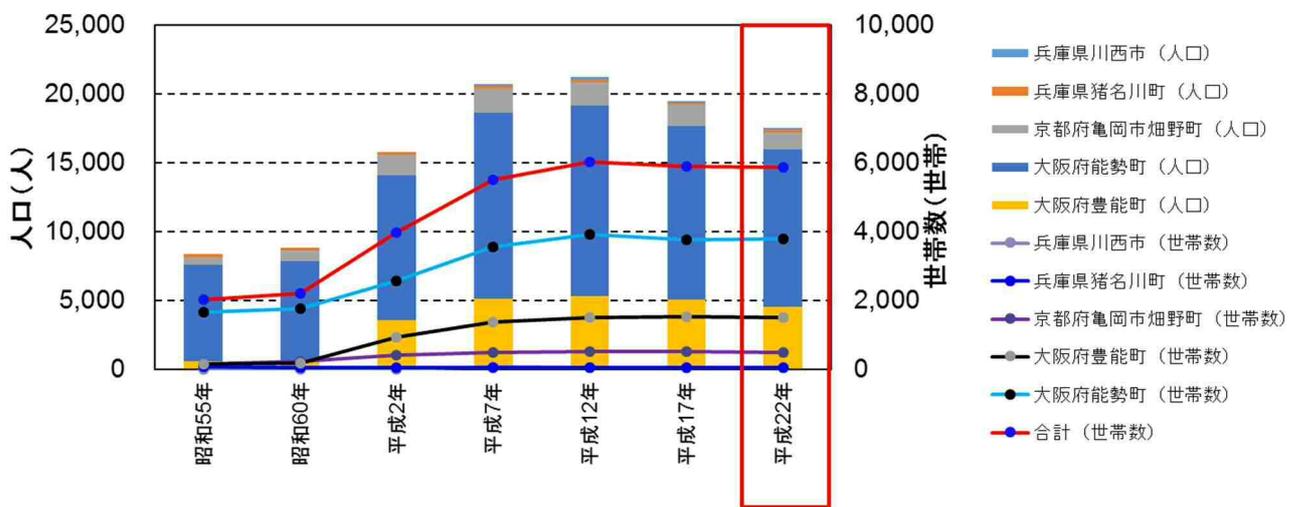


図 7.2-2 川西市(兵庫県)の人口・世帯数推移

(出典:国勢調査結果)

(3) 産業別就業者数

兵庫県川西市と大阪府能勢町の産業別就業者数の推移は図 7. 2-3 に示すとおりである。

両市町とも第 2 次・第 3 次産業に従事する就業者が多く、特に第 3 次産業の就業者が多くなっている。第 1 次産業の割合は、川西市では非常に少ないが、能勢町は「里山づくり」をまちづくりの基幹にしていることもあり、約 9. 5%ほどとなっている。

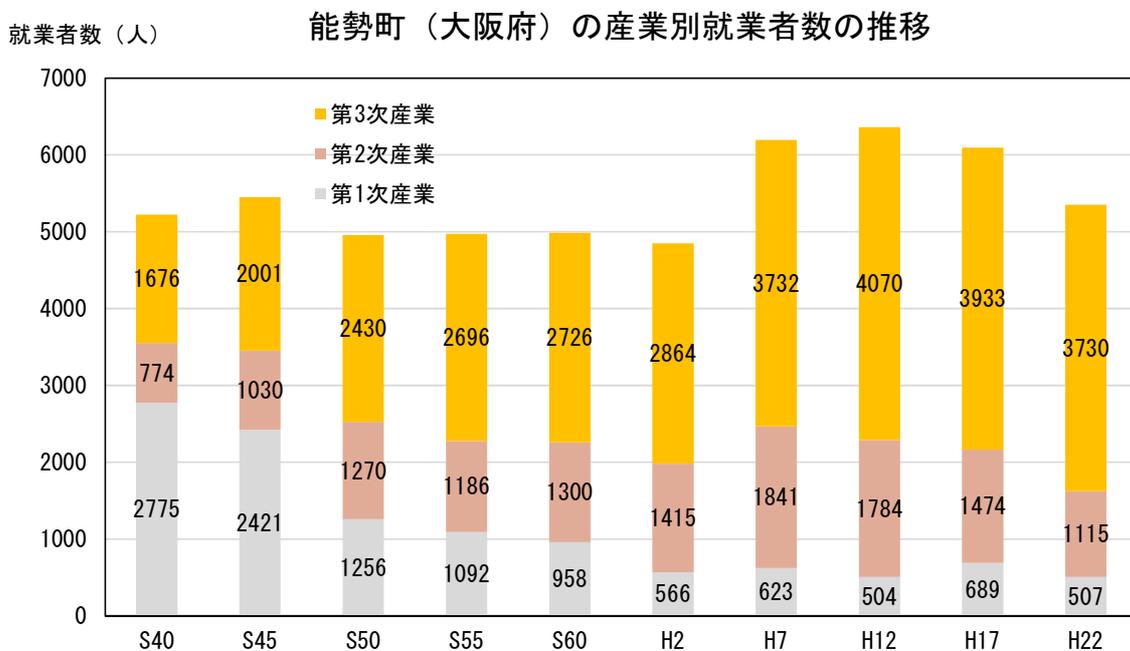
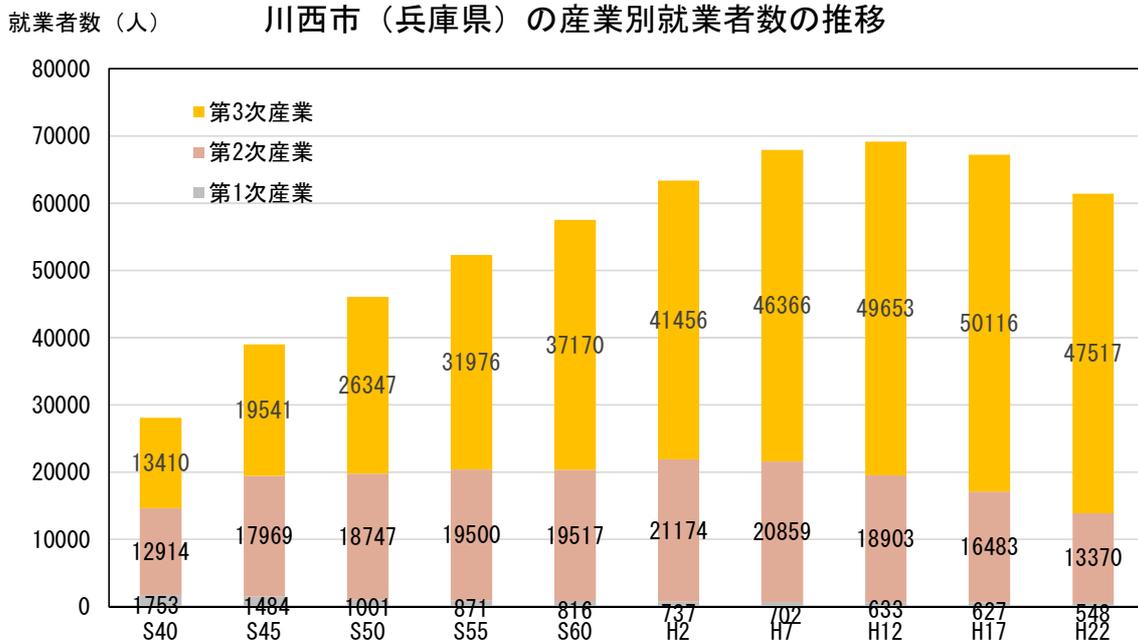


図 7. 2-3 川西市(兵庫県)・能勢町(大阪府)の就業者数推移

(出典: 国勢調査)

7.2.2. ダムの立地特性

(1) ダムへのアクセス

一庫ダムは、兵庫県川西市の市街地から約1~2kmと非常に近い場所に位置し、右岸を大阪府池田市から延びる国道173号が、左岸をダム上流で国道477号と合流する県道604号が通っている。自動車専用道路では、阪神高速池田線・池田木部インターが最寄りであり、インターからダム湖まで10km程度である。また、新名神高速道路高槻第一JCT~神戸JCT間の工事が行われており、平成31年3月の供用が予定されている。ダム近隣では、川西市中心部にICが設置予定である。

自動車によるダムへのアクセス時間は、兵庫県猪名川町、大阪府の能勢町・池田市から30分以内、大阪府大阪市・堺市、京都府京都市から1時間程度である。また、ダム下流2km程度のところに能勢電鉄日生線が通り(最寄り駅は「日生中央駅」「山下駅」)、能勢電鉄日生線「山下駅」からダムまで徒歩7分程度のところまで阪急バスが運行されている。公共交通機関を利用したアクセス性も比較的高い。



図 7.2-4 一庫ダム周辺の交通網

(2) ダム周辺の観光施設等

一庫ダム周辺地域は、歴史にまつわる観光資源が多く、図 7.2-5 に示すように、「一庫知明湖周辺歴史探訪マップ」などを作成して、観光客などに広く PR を行っている。

また、ダム湖の周辺は「県立一庫公園」をはじめとし、豊かな自然環境を活用した公園や施設が充実し、散策や、ハイキング、自然探勝など、多様な楽しみ方ができる場となっている。また、地域住民の居住地からも近いことから、日常の散策などの場としても利用されている。



図 7.2-5(1) ダム周辺地域の観光施設等
(出典:一庫ダム管理所ホームページ <http://www.water.go.jp/kansai/hitokura/>)

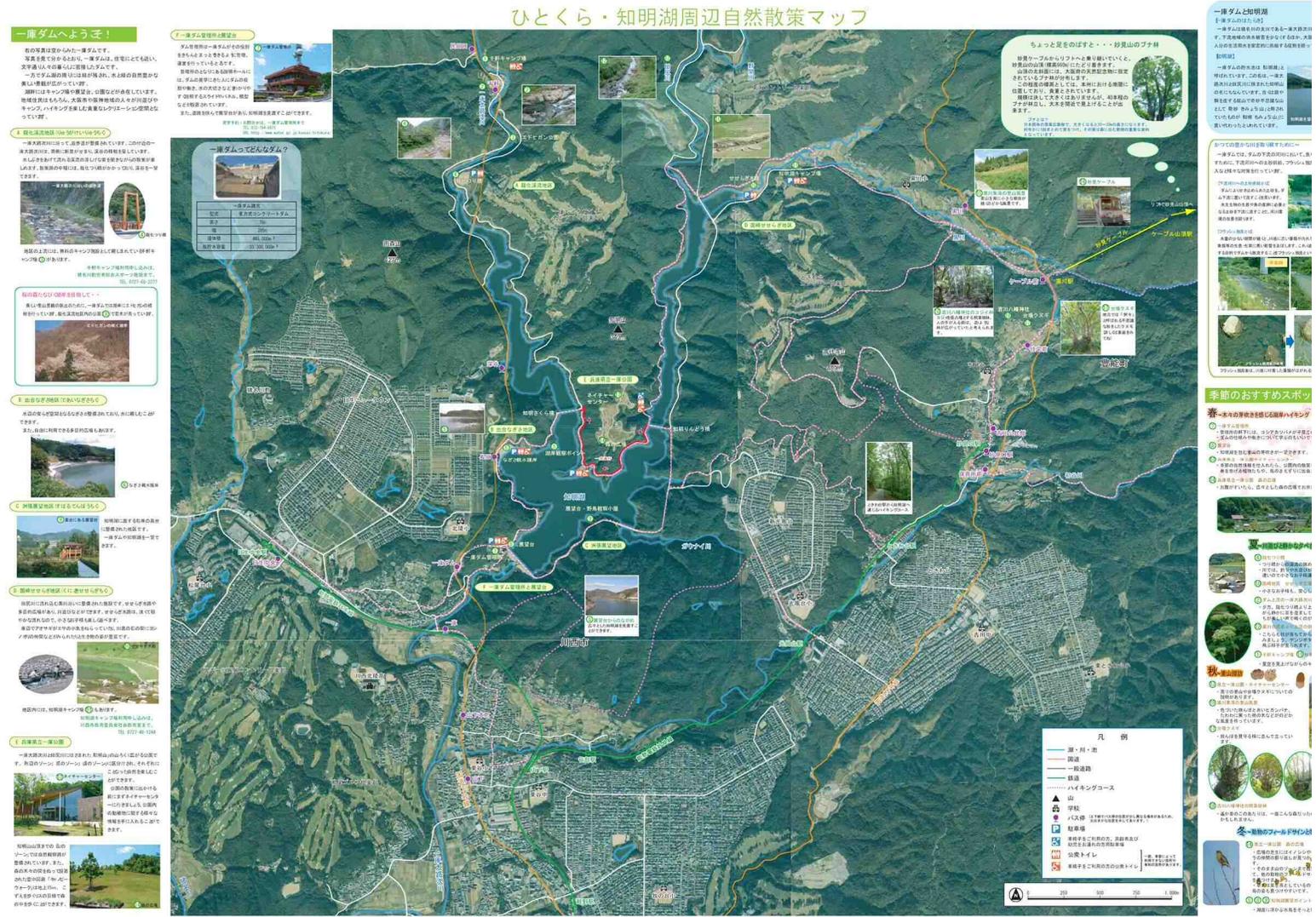


図 7.2-5(2) ダム湖周辺の観光施設等

(出典：一庫ダム管理所HP <http://www.water.go.jp/kansai/hitokura/>)

7.3. ダム事業と地域社会情勢の変遷

一庫ダム事業に関わる地域社会の情勢と変化を年表(表 7.2.2-1)に整理した。

表 7.2.2-1(1) ダム事業と地域社会の変化(年表)

年代	一庫ダム事業と インフラ整備事業	住民活動・交流活動 地域の出来事	その他
S43	6月 淀川水系水資源開発基本計画の変更(一庫ダム追加) 8月 一庫ダム調査所発足 10月 一庫ダム事業実施方針の指示		
S44	6月 一庫ダム建設所設置		
S45		7月 一庫ダム建設事業に関する協定調印(川西市地区)	
S49	7月 水源地域対策特別措置に基づくダムに指定		
S50		8月 「一庫ダム建設に伴う損失補償基準」妥結・調印(川西市地区・東の能勢村地区)	
S52	5月 一庫ダム本体工事に着手		
S53	4月 一庫ダム事業実施方針の変更		
S54	3月 一庫ダム本体のコンクリート打設開始 10月 一庫ダム定礎式		
S56	10月 一庫ダム本体のコンクリート打設完了 11月 試験湛水開始 12月 周辺環境整備工事着手	自然休養村管理センター竣工(能勢町) 国道173号(一庫～民間)開通	
S57	4月 一庫ダム竣功式	4月 一庫ダムが川西市に完成	
S58	4月 管理開始(一庫ダム管理所開設) 5月 試験湛水終了		9月 台風10号による下流の浸水被害発生
H1			9月 前線豪雨による下流の浸水被害発生
H2	6月 ダム湖活用促進事業のダムに指定		
H3		能勢町全域を都市計画区域に指定 市民温水プールがオープン(川西市) 11月 「川西りんどう祭」を初めて開催(川西市)	
H5		ふるさと会館、B&G海洋センター、交流促進施設オープン(能勢町)	
H6			列島渇水により最大で上水30%、農水40%の取水制限
H7			1月 阪神・淡路大震災発生
H9			豊能郡美化センターにおいてダイオキシン問題発生

表 7.2.2 1(2) ダム事業と地域社会の変化(年表)

年代	一庫ダム事業と インフラ整備事業	住民活動・交流活動 地域の出来事	その他
H10	7月 県立一庫公園が一部オープン	7月 県立一庫公園が一部オープン	
H11		保健福祉センターオープン(能勢町) 能勢の浄瑠璃が国の無形民俗文化財に選 択(能勢町)	6月 前線豪雨による下流の浸 水被害発生
H12	4月 施設管理方針の変更	観光物産センターオープン(能勢町)	渇水により取水制限
H13			渇水により取水制限
H14		能勢浄化センター稼働(能勢町) 緑の基本計画発表(川西市)	渇水により最大で上水40%、農 水40%の取水制限 公共下水道供用開始(能勢町)
H15	一庫ダム水源地域ビジョン策定		
H16		川西市市制施行50周年(川西市)	渇水により10%の取水制限
H17	9月 黒川タリヤ園オープン	水道通水50周年記念式典挙行(川西市) 9月 黒川タリヤ園がオープン(川西市)	
H18		能勢町町制施行50周年(能勢町) のじぎく兵庫国体弓道協議を開催。(川西 市:川西市で初の全国規模のスポーツ大 会)	
H19		4月 歴史街道・多田銀銅山悠久の館完成 (猪名川町)	
H20		3月 北野バイパス開通(猪名川町)	
H21	3月 国崎クリーンセンター完成		
H22		4月 第5次町総合計画策定(猪名川町) 10月 参画と協働のまちづくり推進条例 施行(川西市)	
H23			
H24		3月 第5次総合計画策定(能勢町) 第2次能勢町環境基本計画策定	
H25			

(資料:「一庫ダム工事誌」(昭和59年3月、水資源開発公団一庫ダム建設所)、
一庫ダム管理所ホームページ <http://www.water.go.jp/kansai/hitokura/>、
川西市公式WEBサイト <http://www.city.kawanishi.hyogo.jp/>、
能勢町役場ホームページ <http://www.town.nose.osaka.jp/>、
猪名川町ホームページ <http://www.town.inagawa.hyogo.jp/index.html>)

7.4. ダムと地域の関わりに関する評価

7.4.1. 地域におけるダムの位置づけに関する整理

(1) 川西市第5次総合計画

一庫ダム及びダム湖のほとんどの部分が属す兵庫県川西市では、市の第5次総合計画の中で、一庫ダムを「地域資源」として、以降に示すように「貴重な地域力」として位置づけている。今後においても、一庫ダム及び周辺は、次世代へとつなぐべき財産として市民と共有し、活用していくこととしている。

第1部 みんなで共有する総合計画 第2章 まちのすがた

5 地域資源

本市は、誇りうる地域資源を多数有していますが、川西らしい個性的なまちを創造するために、これまで以上に次の地域特性資源を貴重な地域力と位置づけ、次世代へとつなぐべき財産として市民と共有し、活用していきます。

○水と緑の豊かな自然

大都市近郊に位置する本市には、南北を縦貫する一級河川猪名川が流れ、市北部にある黒川の里山は、「にほんの里100選」に、同地域にある一庫ダムの知明湖は、日本の「ダム湖百選」に選ばれ、その一部は猪名川渓谷県立自然公園に指定されています。また、北部や中部には県が貴重性を有すると評価するエドヒガン^{*}が群生し、その群落^{*}が市指定の文化財（天然記念物）に指定されるなど自然的資源に非常に恵まれ、生物の多様性^{*}に富んだまちです。

○古の浪漫

本市の歴史は古く、旧石器・縄文時代にまで遡り、約2000年前の弥生時代中期には、現在の加茂1丁目、南花屋敷2・3丁目付近に大集落が形成されていました。加茂遺跡は、東西約800[㍎]、南北約400[㍎]、広さ約20万平方[㍎]に及ぶ近畿でも有数の環濠集落^{かんご}として、平成12年（2000年）に国史跡として指定されました。

さらに、今から1000年以上前、第56代清和天皇のひ孫「源満仲」は、天禄元年（970年）に多田院（現在の多田神社）を創建し、武家社会と清和源氏の礎を築きました。このことから本市は「清和源氏発祥の地」と言われており、源氏ゆかりの武将や馬上の巴御前^{ともよみ}などが絢爛な時代絵巻を繰り広げる懐古行列を中心とした「源氏まつり」などを通じて、「源氏のふるさと川西」の歴史や文化を広く市内外に発信しています。このように、古代、中世、現代に至るまで数多くの埋蔵文化財や歴史的資産を保有する古の浪漫に満ちたまちです。

○文化の彩

市内にはみつなかホールやミュージゼレスポアール、文化会館、ギャラリーかわにしなどの施設があり、優れた芸術作品の鑑賞や市民の活発な芸術文化活動の展開の場として多くの市民に利用されています。特に、みつなかホールにおいては国際的な演奏家が公演するなど、本市における文化の発信拠点となっています。このように、市民が身近に文化を楽しむことができる文化の彩に満ちたまちです。

^{*} エドヒガン：平成23年（2011年）9月に川西市内の群生地2か所（水明台・黒川）が市の天然記念物に指定された。絶滅危惧種の一つで、種レベルでは兵庫県版レッドデータブックのCランクに、群落レベルでは同ブックのBランクに指定されている。

^{*} 生物の多様性：生態系や、種（しゅ）、遺伝子の3つの多様性を包括したもので、様々な生き物が相互の関係を保ちながら、本来の生息環境の中で繁殖を続ける状態。

10

図 7.4-1 川西市第5次総合計画の基本構想における一庫ダムの位置づけ

（出典：「川西市第5次総合計画（平成25年～平成34年）」第1部 第2章まちのすがた）

(2) 川西市緑の基本計画

快適な生活環境に欠かすことのできない「緑」の将来の総合的なあり方を定める「緑の基本計画」は、川西市の将来の都市像と整合を図りつつ、緑あふれる安全な都市の形成を念頭におき、樹林地の保全、都市公園の整備、公共施設や民間施設を対象とする都市緑化の推進、緑化活動への市民参加の促進などを行おうとするもので、平成33年を目標年次とする長期的な計画である。

この計画の中では、知明湖周辺の緑(環境)を活用した、レクリエーション施設はハイキングコースの整備、利用促進など、施策体系の一施策として体系づけられ、地域の「水に親しむレクリエーションゾーン」としての機能を期待されている。

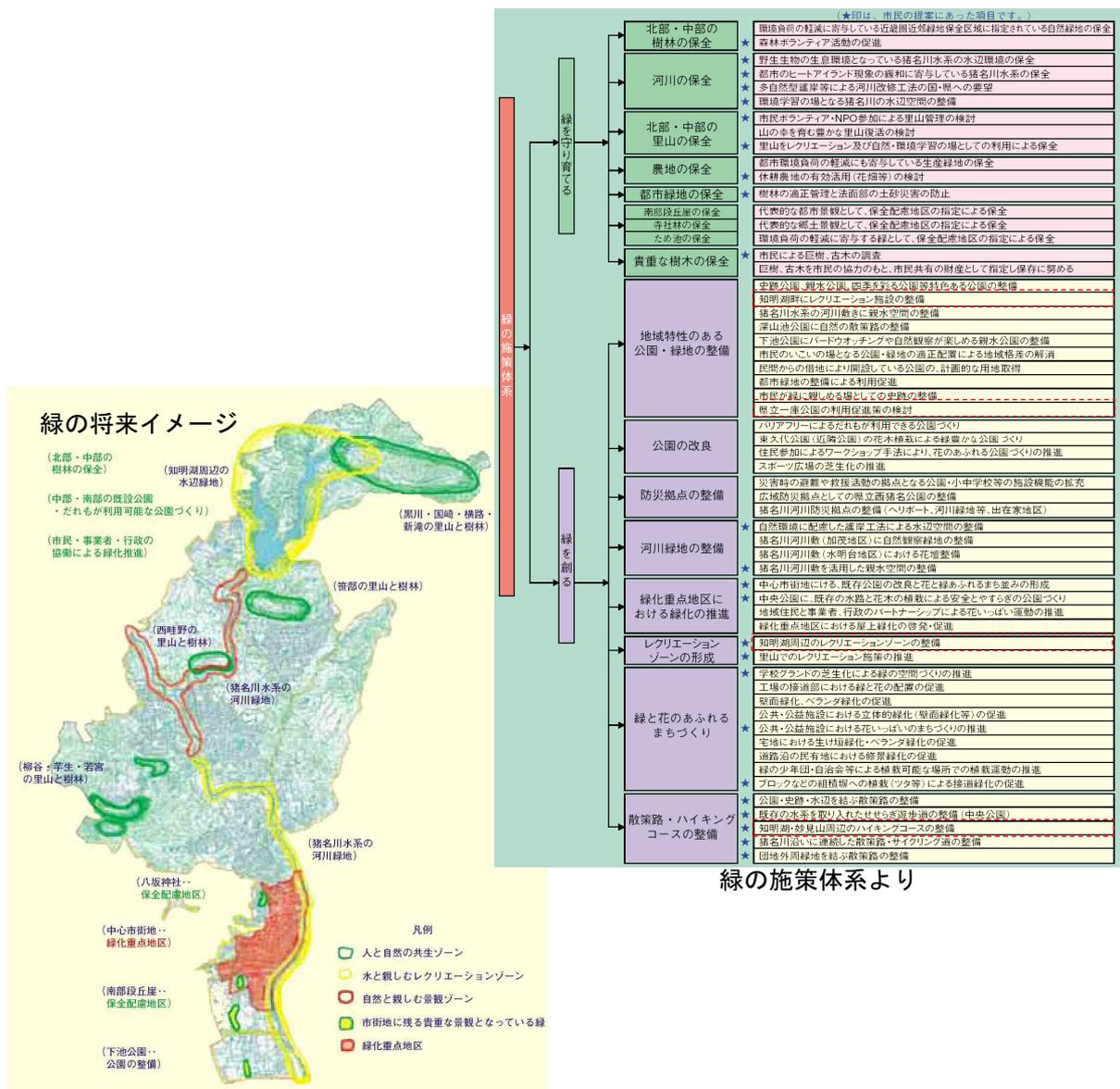


図 7.4-2 川西市第4次総合計画の後期基本計画における一庫ダムの位置づけ
(出典:「川西市 緑の基本計画」(平成14年3月策定、川西市))

(3) 水源地域ビジョン

一庫ダムでは、水源地域の自治体、住民とダム管理者、関係行政機関、並びにこの地域に精通した学識経験者等と広く連携し、平成15年4月に水源地域の活性化のための行動計画である「一庫ダム水源地域ビジョン」を策定し、それに基づいて活動を推進している。

一庫ダムの水源地域ビジョンの概要を図7.4-3に、具体的方策の一覧を表7.4.1-1に示す。

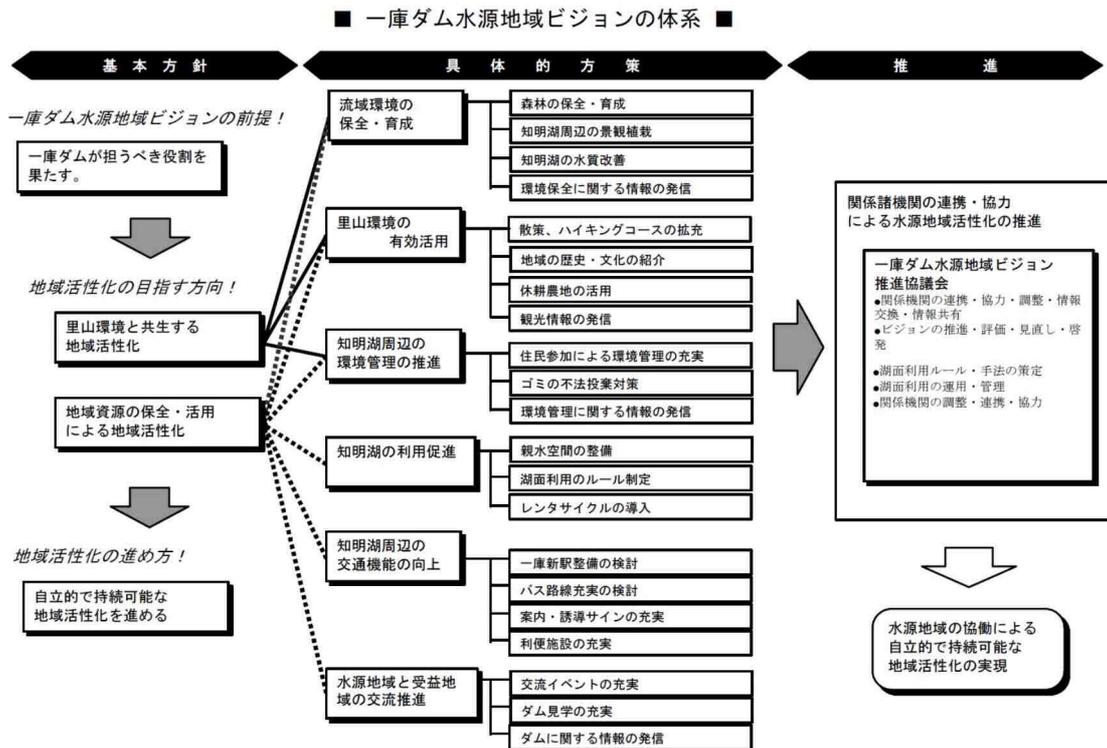


図 7.4-3 一庫ダム水源地域ビジョンの概要

(出典：平成24年度ダム等管理フォローアップ年次報告書(平成24年3月))

表 7.4.1-1 一庫ダム水源地域ビジョンの具体的方策一覧

内 容	実 施 主 体		実施時期	
	主 体	協力・支援		
流域環境の 保全・育成	森林の保全・育成	自治体	森林所有者 民間団体 地域住民 等	短期・中期・長期
	知明湖周辺の景観植栽	自治体 施設管理者	地域住民 民間団体 ダム管理者	継続・短期
	知明湖の水質改善	ダム管理者 河川管理者	関係行政機関	継続、中期
	環境保全に関する情報の発信	自治体 ダム管理者	関係行政機関 関係団体 等	継続・短期
里山環境の 有効活用	散策、ハイキングコースの拡充	自治体	関係団体 関係行政機関 ダム管理者 等	継続・短期
	地域の歴史・文化の紹介	一庫公園 自治体	地域住民 関係団体 関係行政機関 ダム管理者 等	継続、長期
	休耕農地の活用	農地所有者 地域住民 関係機関	自治体	短期・中期・長期
	観光情報の発信	関係する様々な機関		継続・短期
知明湖周辺 の環境管理 の推進	住民参加による環境管理の充実	民間団体 地域住民等	自治体 ダム管理者 関係行政機関 等	継続・短期・中期
	ゴミの不法投棄対策	自治体 ダム管理者	地域住民 関係機関	継続・短期・中期
	環境管理に関する情報の発信	自治体 ダム管理者	地域住民 関係機関	継続・短期・中期
知明湖の利用 促進	親水空間の整備	河川管理者	自治体 ダム管理者 関係行政機関 等	継続・短期
	湖面利用のルール制定	ダム管理者 自治体 関係団体 関係行政機関		短期
	レンタサイクルの導入	自治体 関係団体	ダム管理者 関係行政機関 等	中期
知明湖周辺 の交通機能 の向上	一庫新駅整備の検討	自治体	交通機関 地域住民 関係行政機関 等	長期
	バス路線充実の検討	交通機関 自治体	関係行政機関 地域住民 等	長期
	案内・誘導サインの充実	河川管理者	自治体 ダム管理者 関係行政機関 等	継続・短期
	利便施設の充実	河川管理者	自治体 ダム管理者 関係行政機関 等	継続・短期
水源地域と 受益地域の 交流推進	交流イベントの充実	既存イベントの主催者	関係する諸機関 地域住民	継続・短期
	ダム見学の充実	自治体 関係行政機関等	ダム管理者	継続・短期
	ダムに関する情報の発信	自治体 関係行政機関等	ダム管理者	継続、中期

(出典：一庫ダム管理フォローアップ年次報告書作成業務(平成25年10月))

(4) 能勢町環境基本計画

大阪府の能勢町は、一庫ダムの水源地域のほとんどを含み、「日本一の里山の町」として、里山文化をまちづくりの骨子とする町である。

「第2次能勢町環境基本計画(平成24年3月)」には、能勢町の第5次総合計画に掲げられた里地里山保全のより具体的な考え方が記載されている。

里山の保全については、里山景観の保全に関する方針の策定に努めること、里山管理リーダーをはじめとする関係者や関係機関と連携を取り、支援を行うことが示されている。

【施策体系】

(1) 多様な自然環境（農地・里山含む）の保全・活用

能勢町の自然という財産、そこから創られた「里山」、その里山を形成する一つの資源である森林、森林が産み出した肥沃な土地、これら全てが私たちの日々の生活に深く関わってきました。また、農林業は資源循環能力が高く、ごみの減量にも適した資源循環機能を有しています。

再度、この有効な資源を活用するには、まず森林整備が必要になります。整備することで、里山景観の保全・復旧につながり、また、鳥獣管理にも役立ちます。

自然環境を活かし、そして守ることが、多方面での好影響につながります。

〔主な施策〕

- ① 水土保全・資源循環の取り組み
※
 - ・森林計画に基づき、森林整備を重点的に実施します。
 - ・保安林の整備・保全に努めます。
- ② 野生動物の分布・生息・生育状況の把握
 - ・野生動植物の保護・保全及び有害鳥獣の駆除に関する人材の養成等を図り、分布・生息状況等を適切に把握することに努めます。
- ③ 自然観察会、自然レクリエーションなどの充実
 - ・自然をテーマにした各種活動の情報提供など支援を行いません。
- ④ 里山の保全・管理
 - ・里山景観の保全に関する方針の策定に努めます。
 - ・里山管理リーダーをはじめとする関係者や関係機関と連携を取り、支援を行うなど、里山の景観保全、復旧を行いません。
- ⑤ 環境に配慮した農林業の啓発
 - ・減農薬、減化学肥料、有機農法など、環境に配慮した農業の啓発に努めます。
- ⑥ 農業者と消費者との交流による農業振興と農地の活用
 - ・観光物産センターをはじめとする直売所と連携し、栗等の農林産物の販売や特産品の開発により、農林産物をPRします。
 - ・都市住民との交流事業、貸し農園等の多目的利用を図り、農業を通じた町内外の生産者・消費者の交流を促進します。
- ⑦ 学校での地域活動、生涯学習を通じた環境教育
 - ・次代の能勢町を担う子どもたちに、自然の持つ力の偉大さを伝え、自然からの恩恵を認識し、未来へと引き継いでいけるよう、環境教育への参加を推進します。
 - ・能勢町内とその他の地域の子どもたちが、異なる生活環境での体験を目的に実施する学校間交流などを支援します。
- ⑧ 林道整備の取り組み
 - ・林業の振興やレクリエーション、森林浴などに活用できるよう林道の整備に努めます。

図 7.4-4 能勢町環境基本計画

(出典:「第2次能勢町環境基本計画(平成24年3月、能勢町)」4. 施策の展開)

7.4.2. 一庫ダムと地域との関わりに関する評価

一庫ダム及びダム湖が位置する兵庫県川西市では、一庫ダム周辺を「貴重な地域力」として位置づけており、次世代へとつなぐべき財産として市民と共有し、活用していくこととしている。

また、「川西市緑の基本計画」においても、知明湖周辺の緑(環境)を活用した、レクリエーション施設はハイキングコースの整備、利用促進など、施策体系の一施策として体系づけられ、地域の「水に親しむレクリエーションゾーン」としての機能を期待されている。

一方、水源地域となる大阪府能勢町では、不断の努力により豊かな自然環境が多く守られてきたものの、様々な理由により荒廃が進みつつある現状に言及し、自然環境保護の担い手を支える将来的な対応を模索していく考え方を示している。

一庫ダムは豊かな自然と、広大な水面を活用し、レガッタ大会やマラソン大会など、地域のイベント、交流活動の場としても機能し、ダム管理者も地域に向けた様々な活動により、一庫ダム及びダム周辺の豊かな自然を活動の場として提供するとともに、地元と連携したイベントにおけるダム見学等を通じてダムに関する情報を発信している。

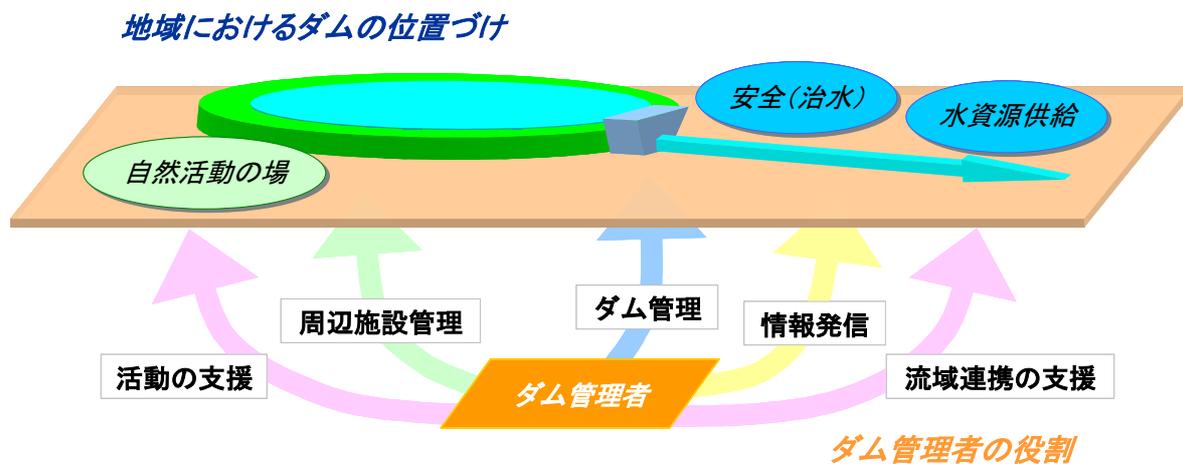


図 7.4-5 地域におけるダムの位置づけ

7.4.3. ダム施設見学者の状況

一庫ダムの施設見学者数の推移を図 7.4-6 に示す。ここで示す図は、ダム及びダム周辺に訪問する利用者数を反映する「ダム湖利用実態調査結果（項目 7.5）」とは異なる。

平成 16 年度～25 年度までの年平均施設見学者数は 1,221 人、平成 21 年度～25 年度までの年平均見学者数は 1,164 人であった。

平成 25 年度までの累計見学者数は、12,565 人となっている。

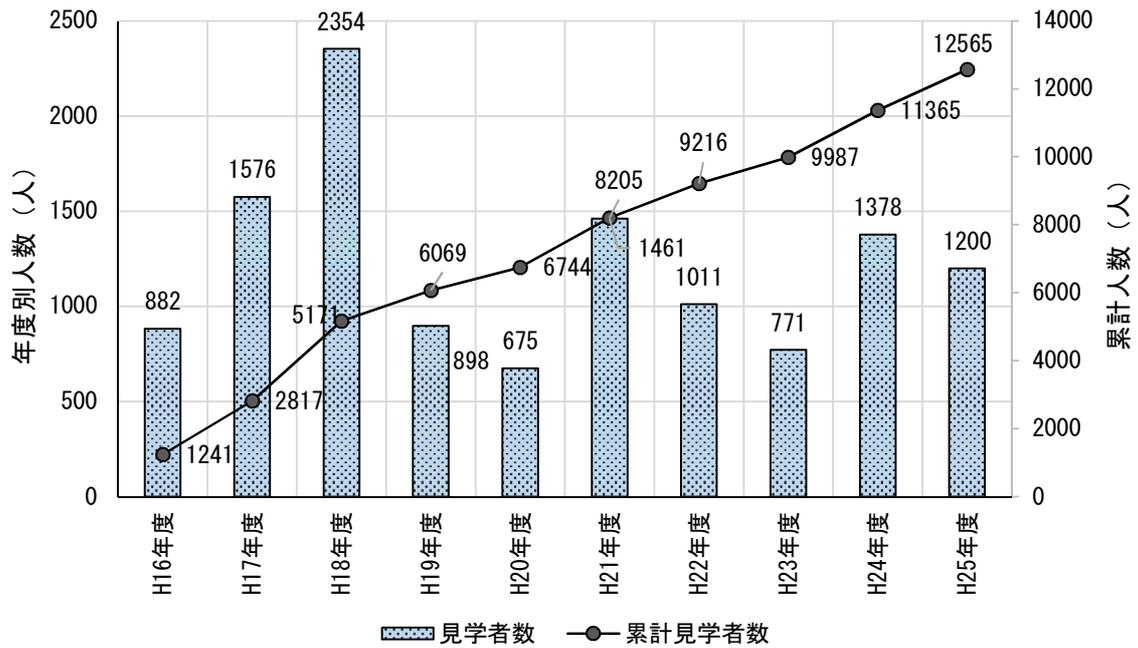


図 7.4-6 一庫ダムの見学者数の推移

(出典:管理年報)

7.4.4. ダム及び周辺での活動状況

一庫ダム周辺では、「川西一庫周遊マラソン大会」や「猪名川クリーン作戦」などのほか、地域が主体となった様々な活動やイベントが行われている。

一庫ダム周辺で実施されたイベントについて、表 7.4.4-1～表 7.4.4-6 に示す。

表 7.4.4-1 一庫ダム周辺のイベント等の開催状況(川西一庫ダム周遊マラソン大会)

開催期間	行事等名	開催場所	参加者	行事内容
平成 21 年 11 月 15 日	川西一庫ダム周遊マラソン大会	川西市 一庫ダム	約 2,800 名	川西一庫ダム周遊マラソン大会 実行委員会の主催（一庫ダムは後援）。川西市の代表的なイベントであり、平成 25 年で 32 回目となる。
平成 22 年 11 月 21 日	川西一庫ダム周遊マラソン大会	川西市 一庫ダム	約 2,300 名	
平成 23 年 11 月 20 日	川西一庫ダム周遊マラソン大会	川西市 一庫ダム	約 2,200 名	
平成 24 年 11 月 18 日	川西一庫ダム周遊マラソン大会	川西市 一庫ダム	約 2,400 名	
平成 25 年 11 月 17 日	川西一庫ダム周遊マラソン大会	川西市 一庫ダム	約 3,100 名	



川西一庫ダム周遊マラソン大会（平成 25 年 11 月 17 日）

表 7.4.4-2 一庫ダム周辺のイベント等の開催状況(流木ペインティング大会)

開催期間	行事等名	主催	参加者	行事内容
平成 21 年 7 月 26 日	流木ペインティング大会	一庫ダム水源地 域ビジョン推進 協議会主催	大人子ども含め て約 90 名	廃棄物の減量と 資源の有効利用 を啓発するため に貯水池内に流 れ込んできた流 木に着色するイ ベントを開催し た。
平成 22 年 8 月 1 日	流木ペインティング大会	一庫ダム水源地 域ビジョン推進 協議会主催	大人子ども含め て約 70 名	
平成 23 年 7 月 31 日	流木ペインティング大会	一庫ダム水源地 域ビジョン推進 協議会主催	大人子ども含め て約 100 名	
平成 24 年 7 月 29 日	流木ペインティング大会	一庫ダム水源地 域ビジョン推進 協議会主催	大人子ども含め て約 100 名	
平成 25 年 8 月 2 日	流木ペインティング大会	一庫ダム水源地 域ビジョン推進 協議会主催	大人子ども含め て約 40 名	



流木ペインティング大会 (平成 25 年 8 月 2 日)

表 7.4.4-3 一庫ダム周辺のイベント等の開催状況(なんでもクラフト大作戦)

開催期間	行事等名	参加者	行事内容
平成 21 年 6 月 20 日	なんでもクラフト大作戦	大人子ども含めて約 20 名	山林管理の重要 性と資源の有効 利用を啓発する ため、地域の有 識者の協力を得 て木工及び竹細 工を体験するイ ベントを開催。
平成 22 年 6 月 20 日	なんでもクラフト大作戦	大人子ども含めて約 40 名	
平成 23 年 6 月 26 日	なんでもクラフト大作戦	大人子ども含めて約 30 名	
平成 24 年 6 月 24 日	なんでもクラフト大作戦	大人子ども含めて約 30 名	
平成 25 年 12 月 15 日	なんでもクラフト大作戦	大人子ども含めて約 30 名	



なんでもクラフト大作戦 (平成 25 年 12 月 15 日)

表 7.4.4-4 一庫ダム周辺のイベント等の開催状況(フィッシングショー-OSAKA)

開催期間	行事等名	参加者	行事内容
平成 21 年 2 月 7 日～8 日	フィッシングシ ョーOSAKA2009	約 830 名	ダム下流河川環 境復元へ向けて の取り組み等に ついての広報と 一般の方々から の意見を聞く場 としてブースを 出展した。
平成 22 年 2 月 6 日～7 日	フィッシングシ ョーOSAKA2010	約 500 名	
平成 23 年 2 月 4 日～6 日	フィッシングシ ョーOSAKA2011	約 500 名	
平成 24 年 2 月 3 日～5 日	フィッシングシ ョーOSAKA2012	約 300 名	
平成 25 年 2 月 1 日～3 日	フィッシングシ ョーOSAKA2013	約 300 名	



フィッシングショー-OSAKA2013 (平成 25 年 2 月 1 日～2 日)

表 7.4.4-5 一庫ダム周辺のイベント等の開催状況(猪名川クリーン作戦)

開催期間	行事等名	主催	参加者	行事内容
平成 21 年 2 月 7 日	猪名川クリーン 作戦	猪名川クリーン 作戦実行委員会	約 1,100 名	猪名川に清流を 取り戻そうと、 流域関係市町 村・団体・市民 グループなどが 流域の 19 ヶ所 でゴミ拾い・水 質調査を実施し た。
平成 22 年 2 月 6 日	猪名川クリーン 作戦	猪名川クリーン 作戦実行委員会	約 1,100 名	
平成 23 年 2 月 5 日	猪名川クリーン 作戦	猪名川クリーン 作戦実行委員会	約 1,300 名	
平成 24 年 2 月 2 日	猪名川クリーン 作戦	猪名川クリーン 作戦実行委員会	約 1,100 名	
平成 25 年 2 月 2 日	猪名川クリーン 作戦	猪名川クリーン 作戦実行委員会	約 1,000 名	



猪名川クリーン作戦（平成 25 年 2 月 2 日）

表 7.4.4-6 一庫ダム周辺のイベント等の開催状況(夏でもひ～んやり！一庫ダム内見学)

開催期間	行事等名	主催	参加者	行事内容
平成 21 年 8 月 22 日～23 日	夏でもひ～んや り！（一庫ダム 内見学）	能勢電鉄株式会 社主催（一庫ダ ム共催）	約 280 名	地域活性化、ダ ムを含む地域の 広報を目的とし て、一庫ダム見 学と説明会を開 催した。
平成 22 年 8 月 21 日～22 日	夏でもひ～んや り！（一庫ダム 内見学）	能勢電鉄株式会 社主催（一庫ダ ム共催）	約 320 名	
平成 23 年 8 月 27 日～28 日	夏でもひ～んや り！（一庫ダム 内見学）	能勢電鉄株式会 社主催（一庫ダ ム共催）	約 280 名	
平成 24 年 8 月 18 日～19 日	夏でもひ～んや り！（一庫ダム 内見学）	能勢電鉄株式会 社主催（一庫ダ ム共催）	約 270 名	
平成 25 年 8 月 10 日～11 日	夏でもひ～んや り！（一庫ダム 内見学）	能勢電鉄株式会 社主催（一庫ダ ム共催）	約 280 名	



夏でもひ～んやり！（一庫ダム内見学）（平成25年8月10～11日）

7.4.5. ダム湖百選の選定

一庫ダムの「知明湖」は、ダム湖百選として選定されており、より一層地域に親しまれ、地域の活性化に役立つことが期待されている。

なお、ダム湖百選の選定は、平成17年に行われたものである。高さ15m以上のダムで、ダム湖の所在する市町村長から推薦されたダムが審査対象とされ、(財)ダム水源地環境整備センターが運営する「ダム湖百選選定委員会」が選定を行っている。

選定基準は、地域に親しまれ、また、地域にとってかけがえのないダム湖であることであり、以下の項目が総合評価されている。

1. 好ましい景観
2. 生態系への配慮
3. 歴史的な価値
4. 人と自然とのふれあい
5. 上下流の交流
6. 学習の場としての利用
7. 地域の人々の関心
8. その他

The screenshot shows a detailed webpage for Chimiyoko Lake. It includes a navigation menu at the top, a main title 'ダム湖百選' (Dam Lake 100 Selection), and a sub-header 'Familiar and Invaluable SELECTED 100 DAMLAK'. The page is divided into several sections: a main introduction, a '見どころ' (Highlights) section with bullet points about historical sites, a 'イベント' (Events) section listing local festivals and marathons, and a '一庫ダム (知明湖) 諸元' (Dam Details) section providing technical specifications. There are also several photographs of the lake, surrounding landscape, and local activities. The footer contains copyright information for the Dam Water Source Environment Improvement Center.

図 7.4-7 ダム湖百選の選定

(出典: (財)ダム水源地環境整備センターホームページ (http://www.wec.or.jp/center/hyakusen/chimiyoko.html))

7.5. 河川水辺の国勢調査(ダム湖利用実態調査)結果

(1) ダム湖利用実態調査

一庫ダムでは、平成3年度より「河川水辺の国勢調査(ダム湖利用実態調査)」が実施されている。

「平成21年度 河川水辺の国勢調査結果〔ダム湖版〕〈ダム湖利用実態調査編〉(平成20年3月)」によると、平成3年度の年間利用者数の推計値は約18万人であり、平成15年度の約30万人まで上昇傾向にあった。しかし平成18年度、21年度にかけて減少傾向にある。

平成12年以降の主な利用形態は「散策」と「野外活動」である。平成21年度は「散策」が44.3%、「野外活動」が16.0%であった。平成21年度では、施設利用者が増え21.0%であった。

なお、調査は、平成21年度までは3年ごとに実施されているが、平成24年度の調査は行われず、平成26年度(本報告書作成年度)に実施中である。

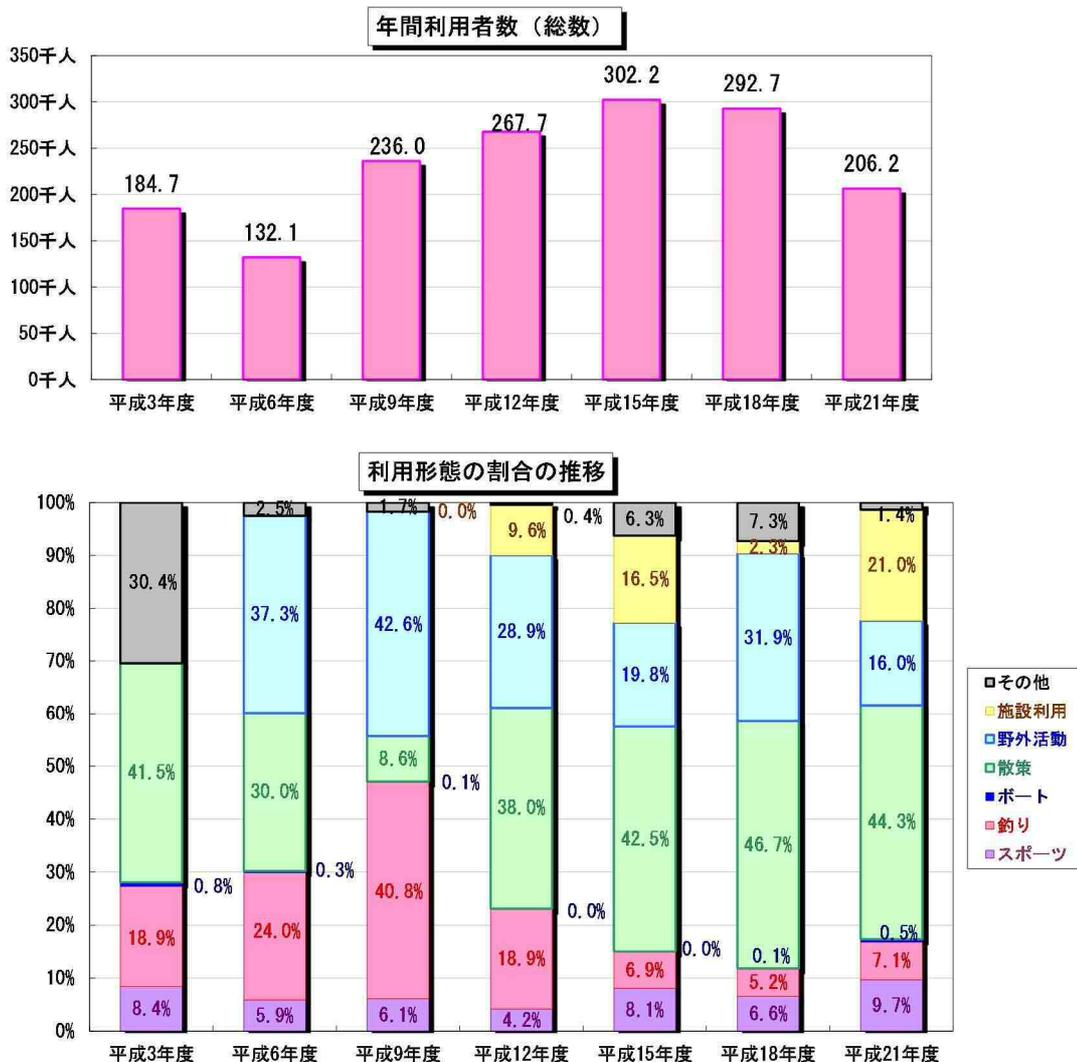


図 7.4-1 1年間のダム湖利用状況(推計値)

(出典:平成21年度 河川水辺の国勢調査結果〔ダム湖版〕〈ダム湖利用実態調査編〉)

【参考：ダム湖利用実態調査の調査方法及び年間利用者数の推計方法】

1. 調査項目・調査時期

表-(1) 調査項目、目的および作成する様式

調査項目	目的	調査実施日等
利用者カウント調査	年間利用者数の推計に用いる基礎データ（サンプル日における利用者数）の収集。 あらかじめ設定した「ブロック区分※1」毎に調査を行った。	表-(2)に示す調査実施日（合計7日間）において実施。
利用者アンケート調査	ダム湖の利用目的、感想等の把握および年間利用者数の推計にあたっての基礎データの収集。	
イベント調査	ダム湖における利用者数の影響要因である各種イベントの開催状況および参加人数の把握。	当該年3月1日から翌年2月28日までの1年間における状況を聞き取り調査等により実施。
施設利用者数調査（H18のみ実施）	ダム湖周辺にある施設での日別利用者数の把握	平成18年3月1日から平成19年2月28日までの1年間において実施。

※1 ブロック区分：利用者カウント調査において利用者数の集計を行う地理的単位。基本的には、調査対象区域内の利用環境を踏まえて、調査対象区域を複数のエリアに分割

表-(2) 調査実施日一覧

番号	季節区分	平日休日区分	平成21年度一庫ダムの調査実施日	備考
1	春季	休日	4月29日(水・祝日)	夏季の休日は、全国の実施日は平成21年7月26日(日)であったが、一庫ダムではイベントと重なったため、平成21年8月2日(日)に変更して実施した。
2		平日	5月5日(火・祝日)	
3		平日	5月14日(木)	
4	夏季	休日	8月2日(日)	
5		平日	8月6日(木)	
6	秋季	休日	11月3日(火・祝日)	
7	冬季	休日	(平成22年) 1月11日(月・祝日)	

2. 調査方法

(1) 利用者カウント調査

- ・調査区域内の利用者数を現地で実測する方法である。
- ・利用者数は、設定したブロック毎に、時間帯別、性別、年齢別、利用区分別に人数をカウント。
- ・原則として、日の出から日没までの間に2時間毎で実施する。
- ・各調査時刻における観測値の合計を一日の利用者数とみなす。

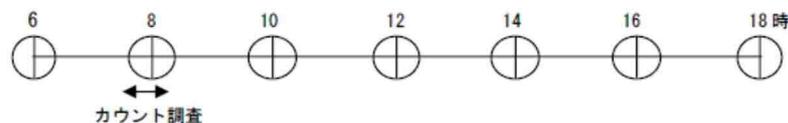


図-(1) 利用者カウント調査の実施間隔の考え方

(2) 利用者アンケート調査

本調査は、利用者に対して直接質問し、回答を得ることにより実施。調査実施日は、利用者カウント調査実施日(7日間)とする。必要なアンケート対象者数(最少サンプル数)は、各調査実施日において20人以上を目標とした。

(3) イベント調査

本調査は、ダム管理者や施設の運営主体等から、調査区域内において開催されたイベントについて、聞き取りを行うことにより調査を実施した。

表-(3) 対象とするイベントの考え方

対象とするイベント等	
期 間	当該年3月から翌年2月の1年間において開催されたイベント等とした。
時 間 帯	対象とする時間帯は特に制限しない。
規 模	参加人数が概ね100人以上となるイベント等とした。
種 類 等	対象とするイベント等の種類や実施・運営主体等は特に制限しない。

3. 年間利用者数の推計方法

各季節別に実施した合計7回の調査(カウント)結果とイベント調査結果をもとに、ダム毎に1年間のダム湖利用者数の推計を行った。

年間のダム湖利用者数の推計に当たっては、季節、休日と平日の違いを考慮し、各季節の休日、土曜日、平日の利用者数(実測値を基本とする)を原単位とし、それに各季節の休日・土曜日・平日の日数を乗じた推計値にイベント調査結果を加えることにより、年間利用者数の推計を行った。

なお、平成9年度以前の調査については、イベント調査は行われていないため、上記のイベント人数の加算は行っていない。

【曜日係数】

H15まで:各季節の土曜日および秋季・冬季の平日については実測値がないため、平成4年度に行った補足調査結果より得られた全国平均の比率を乗じる(土曜日=0.37×休日、平日=0.18×休日)ことにより、原単位を求めた。

H18 :H15まで使用した曜日係数は平成4年に設定されたものであり、その間に休暇の取得等に関する社会的な考え方や制度が変化し可能性が考えられたため、H18に新しい曜日係数設定を目的とした追加調査を行った。結果、平成18年は、土曜係数=0.41、平日係数=0.22とされた。

H21 :H18年度の係数により下表のとおり試算した。

表-(4) 平成21年度 一庫ダム年間利用者数の推定(試算)結果

季節	曜日区分	調査日別利用者数(実測値)	原単位			日数			季節別利用者数(推計値)	イベント参加人数(実測値)	年間利用者数(推計値)
			休日	平日	土曜(*1)	休日	平日	土曜			
春季	休日1	2,654	2,830(*2)	407	1,160	19	60	13	93,262	0	206,246
	休日2	3,005									
	平日	407									
夏季	休日	1,125	1,125	558	461	14	65	13	58,016	0	206,246
	平日	558									
秋季	休日	940	940	207(*3)	385	19	59	13	35,071	0	206,246
冬季	休日	560	560	123(*3)	230	17	60	13	19,897		

*1:休日×0.41

*2:春季休日1と春季休日2の平均値

*3:休日×0.22

※注 上記平成21年度の推計は、平成18年度の係数を使った試算であり、公表値ではないため、今後変更することもある。

(2) 利用者特性

ダム湖利用実態調査時に行った利用者アンケート調査の結果から、一庫ダム利用者の特性を整理した。

アンケートの回答者数は、以下のとおりである。

平成15年度	平成18年度	平成21年度
156人	198人	995人

1) 利用者の属性

利用者層は、平成15年度、平成18年度、平成21年度全てで30歳代が最も多く、次いで平成15年度は60歳代、平成18年度と平成21年度は40歳代が多かった。20歳代～60歳代まで、幅広い年代に利用されている。

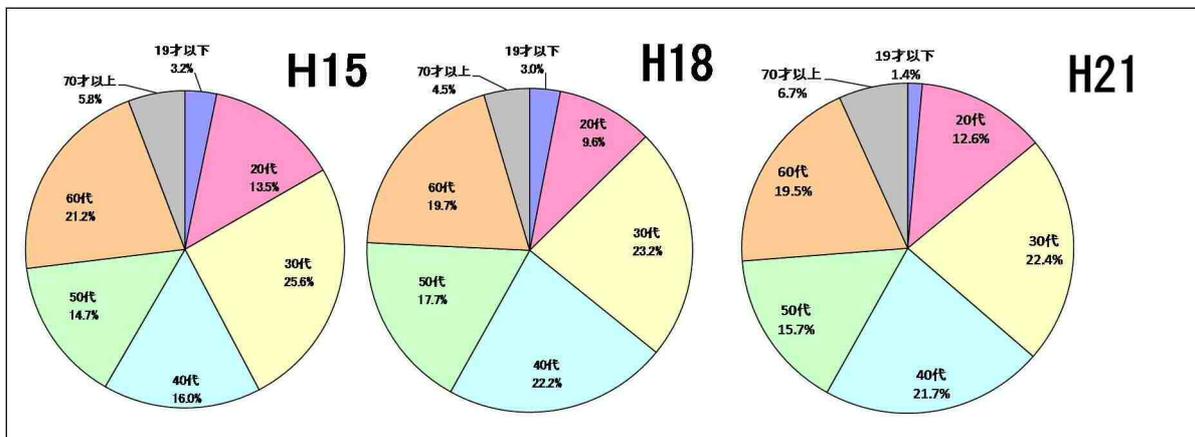


図 7.4-2 利用者の年齢層

(出典:平成21年度 河川水辺の国勢調査結果 [ダム湖版] <ダム湖利用実態調査編>)

2) 利用者の居住地等

来訪者の居住地は兵庫県・大阪府が多く、二府県合わせて9割を越えている。京都府からの来訪者は、平成15年度は3%、平成18年度は2%、平成21年度は3%である。市町村別では兵庫県川西市が最も多く、次いで大阪府大阪市・豊能町、兵庫県猪名川町となっている。

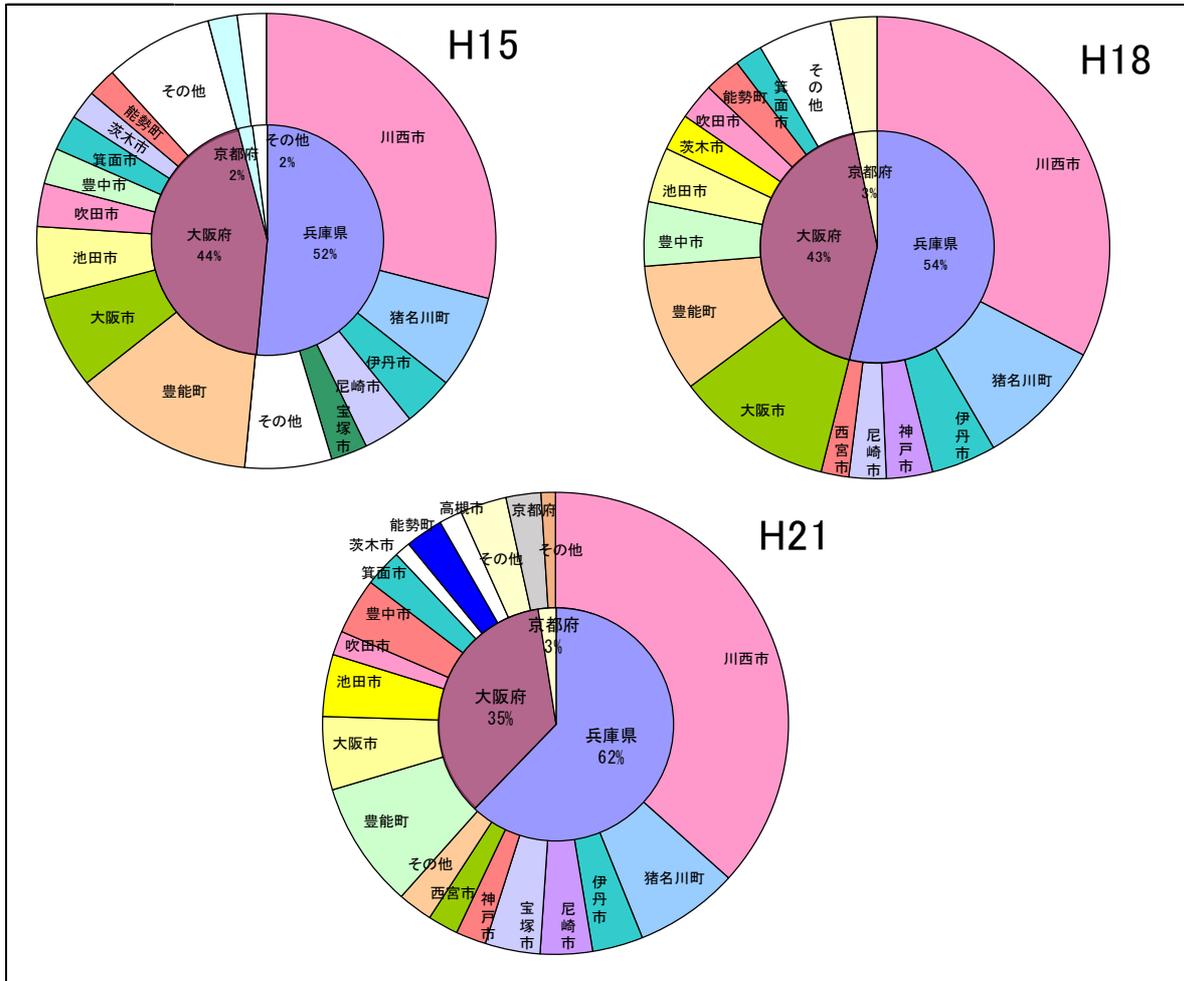


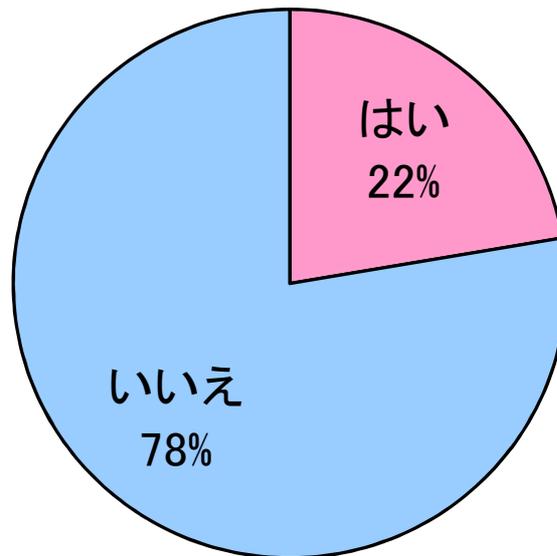
図 7.4-3 利用者の居住地等

(出典:平成21年度 河川水辺の国勢調査結果 [ダム湖版] <ダム湖利用実態調査編>

平成 21 年度に一庫ダムを訪れた利用者は、リピーターが 15%程度となっている。また、平成 18 年度では家族で訪れる人が最も多かったが、平成 21 年度では一人で訪れる人が約 4 割を越えている。なお、平成 15 年度についてはデータ未入手のため、まとめられなかった。

来訪経験

H18



来訪経験

H21

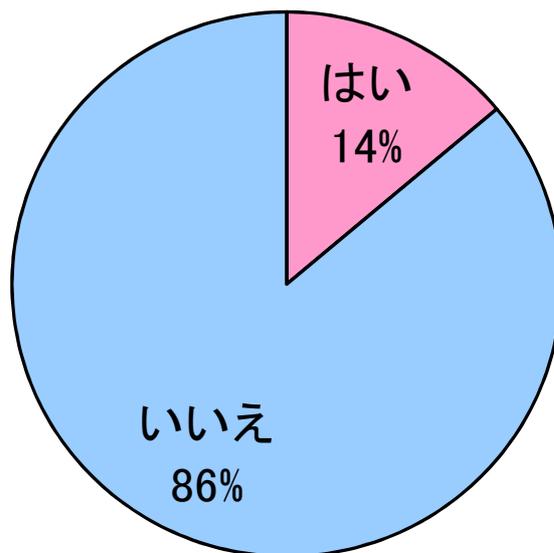


図 7.4-4 利用者の来訪経験

(出典:平成 21 年度 河川水辺の国勢調査結果〔ダム湖版〕〈ダム湖利用実態調査編〉)

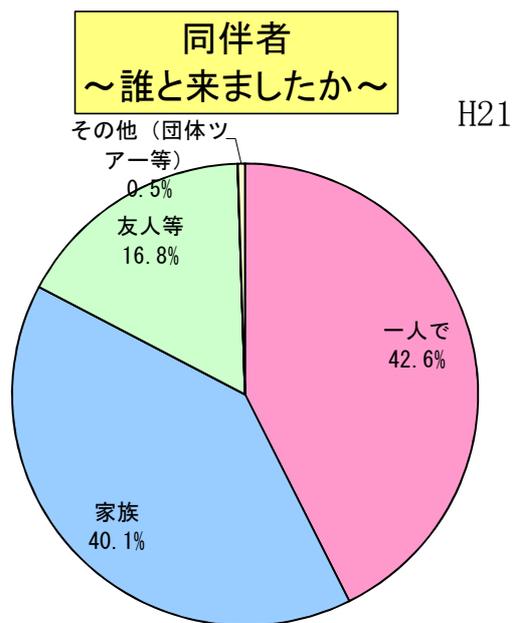
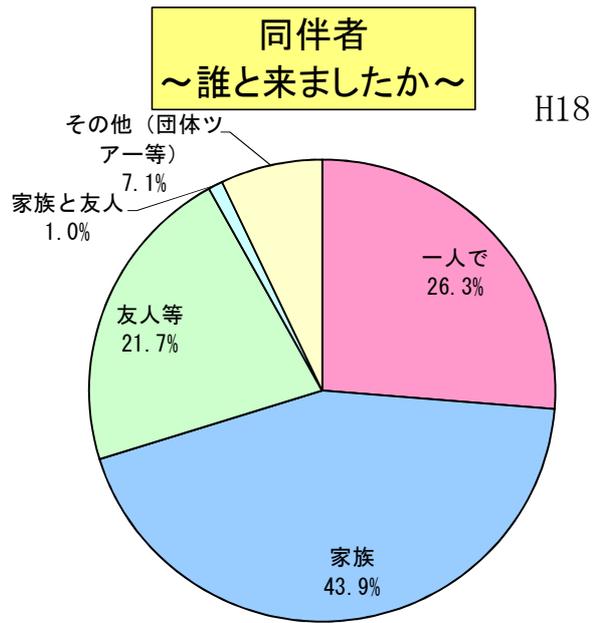


図 7.4-5 利用者の同伴者

(出典:平成 21 年度 河川水辺の国勢調査結果 [ダム湖版] <ダム湖利用実態調査編>

3) 来訪目的

平成 21 年度に一庫ダムを訪れた主な目的は、「釣り」が最も多く、次いで「休憩」「新緑」となっている。一庫ダムを目的とした来訪者が上位に上がっているが、平成 21 年度では「トイレ・休息」などの立ち寄りが増えた。

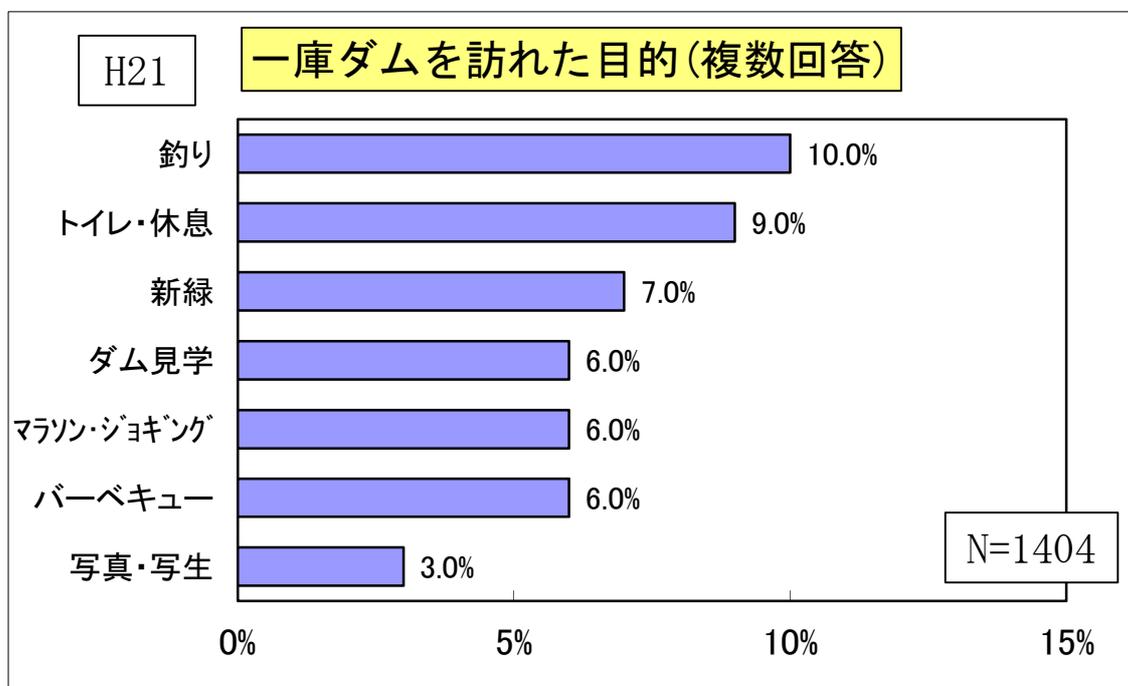
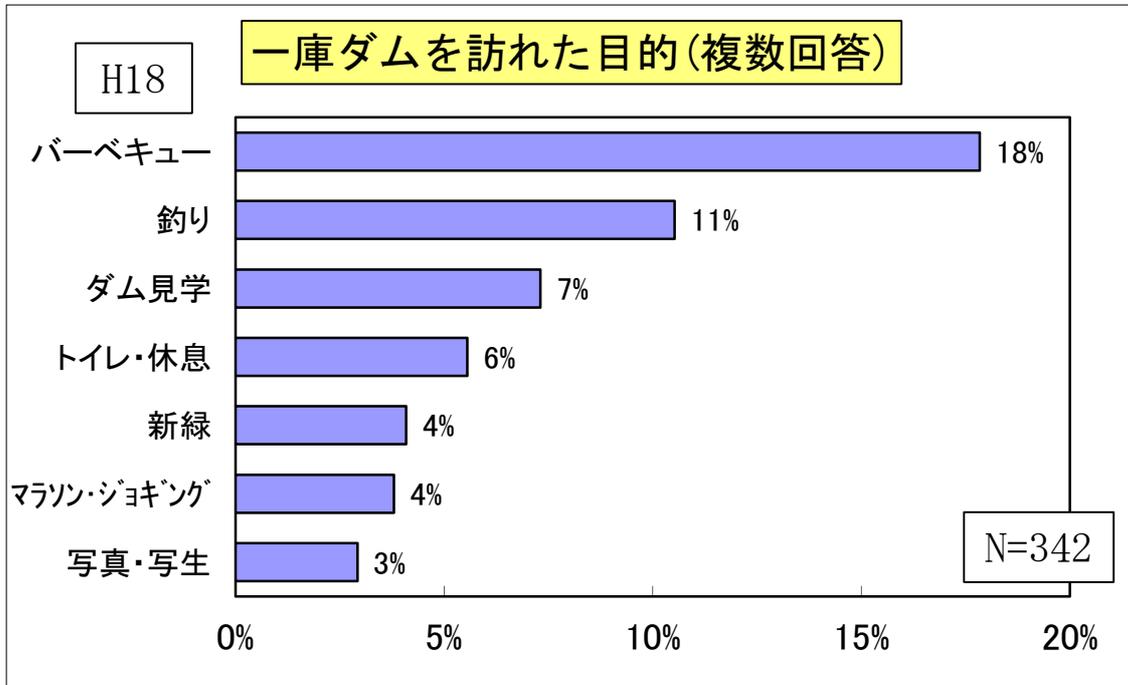


図 7.4-6 来訪目的

(出典:平成 21 年度 河川水辺の国勢調査結果〔ダム湖版〕〈ダム湖利用実態調査編〉)

4) 利用者の感想

一庫ダムを利用した感想については、平成15年、平成18年、ともに「満足」「まあ満足」が8割を超えたが、平成21年では、約8割となった。

平成21年度には「やや不満」「不満」と回答した人は7%程度で、「見学場所が少ない」「休憩所が少ない」といった施設に対する不満、「ごみが多い」「家庭ごみを捨てている」といった利用者マナーに関する不満があった。

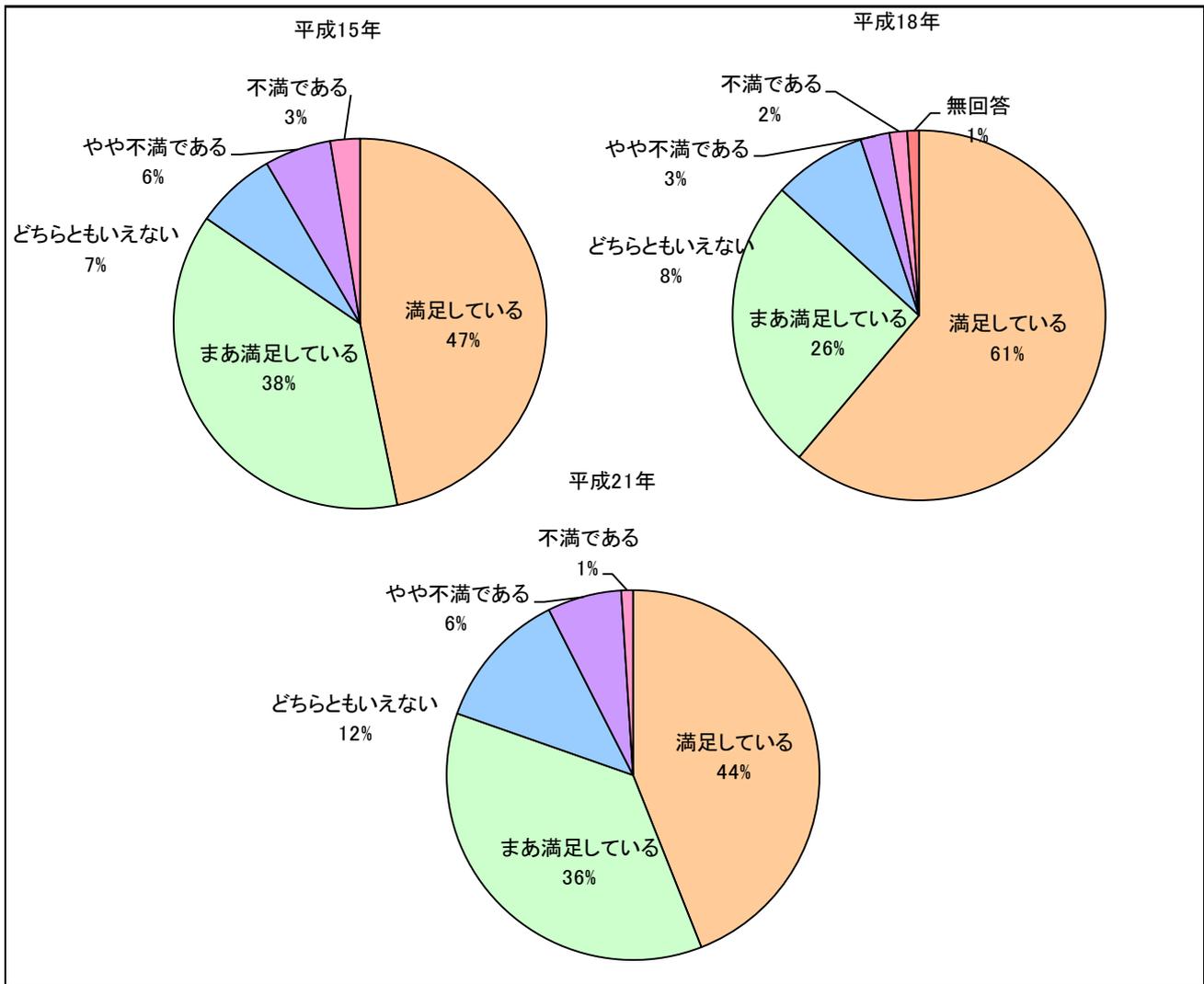


図 7.4-7 利用者の感想

(出典:平成21年度 河川水辺の国勢調査結果〔ダム湖版〕〈ダム湖利用実態調査編〉)

7.6. その他の関連事項

ダムカードの配布

ダムカードの発行のご案内

全国の多数のダムが統一した様式で、ダムカードを作成し、7月20日より各ダムで配布が開始されています。

一庫ダムでも同様に、ダムカードを作成しましたので配布を開始しました。

配布場所は、当面の間、一庫ダム管理所のみとなっておりますので、希望される方は、当管理所までご来訪をお願いいたします。

配布時間は、平日9時より17時の間、土・日・祝日については、10時より16時とさせていただきます。

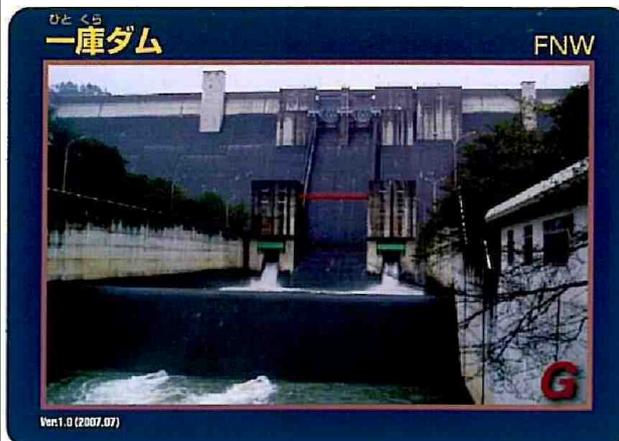
配布については、数に限りがありますので、一人1枚とさせていただきます。

また、郵送等の方法による配布は、受けられませんのでご了承をお願いいたします。

ご不明な点・お問い合わせは、当管理所までお願いいたします。

独立行政法人水資源機構 一庫ダム管理所
072-794-6671

見本（表面）



見本（裏面）

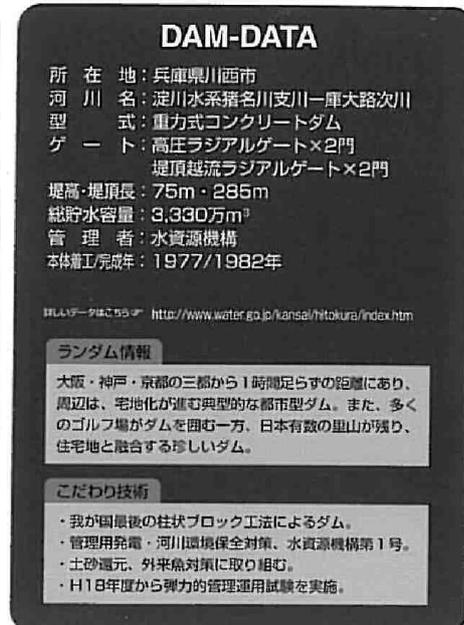


図 7.6-1 ダムカードの配布に関するチラシ

(出典:一庫ダム管理所HP (<http://www.water.go.jp/kansai/hitokura/>))

7.7. まとめ

- 一庫ダム流域内における人口は、平成12年までは増加傾向であったが、その後は減少している。世帯数も、平成12年以降、減少している。
- 一庫ダムは、大都市圏である兵庫県川西市の市街地から1~2km圏内にある。川西市や池田市からは、車や公共交通にて30分程度でアクセスできる。神戸市や大阪市からは、1時間程度でアクセスできる。
- ダム周辺には、年間利用者数推計によると、20~30万人以上が訪れている。

〈 今後の方針 〉

ダム周辺の利用者数をはじめ、地域の人口等の概要、観光施設等の水源地動態を引き続き把握していく。また、今後も地域と連携した活動を積極的に実施していく。

ダム周辺施設を活かした活動、イベント等に積極的に取り組むとともに、水源地域ビジョンの基本方針に基づき、今後も引き続き関係自治体、地元、NPOなどとともに活動を推進していく。

7.8. 文献・資料リスト

表 7.7-1 水源地域動態に使用した文献・資料リスト

No.	文献・資料名	発行者	発行年月
7-1	平成 21 年度 ダム等管理フォローアップ年次報告書	一庫ダム管理所	平成 23 年 2 月
7-2	平成 24 年度 ダム等管理フォローアップ年次報告書	一庫ダム管理所	平成 25 年 10 月
7-3	平成 21 年度 河川水辺の国勢調査結果〔ダム湖版〕 (ダム湖利用実態調査編)	国土交通省河川局河川環境課	平成 16 年 1 月
7-4	平成 21 年度 河川水辺の国勢調査結果〔ダム湖版〕 (ダム湖利用実態調査編)	国土交通省河川局河川環境課	平成 22 年 3 月
7-5	一庫ダム管理所ホームページ http://www.water.go.jp/kansai/hitokura/index.htm	一庫ダム管理所	
7-6	一庫ダム工事誌	水資源開発公団一庫ダム建設所	昭和 59 年 3 月
7-7	川西市公式 WEB サイト http://www.city.kawanishi.hyogo.jp/		
7-8	能勢町役場ホームページ http://www.town.nose.osaka.jp/		

表 7.7-2 水源地域動態に使用したデータ

No.	データ名	データ提供者または出典	データ発行年
7-1	ダム及び周辺での活動状況	一庫ダム管理所	
7-2	ダム見学者数	一庫ダム管理所	
7-3	利用者の年齢・性別・来訪目的等	平成 21 年度 河川水辺の国勢調査結果〔ダム湖版〕 (ダム湖利用実態調査編)	平成 22 年 3 月